

目的・内容・使い方

目的

本書は「大阪府 消費者教育の取組に関するイメージマップ（ライフステージに応じた身に付ける能力の考え方）」に基づき、高校生期に身に付けておきたい消費者問題に関する知識や考え方、実践的な態度などを授業等をとおして修得させることを目的としています。教科書にはあまり掲載されていない事例や資料などを盛り込み、解答が何とおりも想定されるような設問を多く取り入れることで、幅広い視点での思考力・判断力・行動力等を養成します。消費者教育は「家庭」「公民」「情報」で学ぶものと思われがちですが、本書は切り口を多様にすることで他教科や特別活動などでも活用できるよう工夫しています。教科を超えた国際理解、環境、福祉、健康など、横断的・総合的な課題についての学習活動などにもご活用ください。

内容

- 自立した消費者の育成と消費者市民社会の構築を目的とした4つの大きなテーマ（「商品の安全」、「生活の管理と契約」、「情報とメディア」、「消費者市民社会の構築」）を5つのカテゴリーに分類し、さらに若者に関連の深い11の題材を設定し、それぞれ指導ガイド（以下「ガイド」という）と教材により構成しています。
- それぞれのガイドでは、カテゴリーごとに概要、指導目標、指導計画と、授業の導入・展開・まとめを掲載しています。
- 別冊のワークシート（以下「ワーク」という）は、題材ごとに1時限に1つ、または組み合わせて活用できるよう工夫しており、時間配分も自由に設定できます。表面はコピーして生徒に配付することを想定しています。裏面はガイドの補足資料として指導上の留意点やワークの設問の解答例、ポイント、関連用語を記載していますので参考にしてください。また、どの題材からでも使えるよう、表面にはページや連番を入れず、裏面に記載しています。
- 巻末資料には、各題材を理解するための関連用語集、ホームルームの一部など短時間でも消費者教育ができるクイズのほか、大阪府内の消費生活相談窓口、参考教材一覧、「大阪府 消費者教育の取組に関するイメージマップ（ライフステージに応じた身に付ける能力の考え方）」を掲載しています。

使い方

| | 時間 | 学習内容・活動 | 指導上の留意点 |
|-------------------------------|-----|---|---|
| 導入 | 10分 | | |
| 各ワークはいずれかを選択・組み合わせて使うことができます。 | | | |
| 展開 | 35分 | 健康食品(ダイエット食品) ワーク① 教材① ・【ワーク①-①】(1)(2)(3)健康食品のイメージ、広告の特徴、摂取目的などについて意見を出す。広告で問題となった表示例は教材①-1参照。 | ワークを1つ選び、前半を授業で、後半を宿題にして2時限で活用したり、ワーク①②を1時限に入れ込んだりするなど、時間や状況に応じて活用できます。 |
| | 35分 | 健康食品(カラーコンタクトレンズ) ワーク② 教材② ・教材②-1の事例を見て、カラーコンタクトレンズ装着での健康被害について確認する。 | |

テーマごとにどのワーク・教材を使うのかを記載しています。

本書に出てくるマーク



こんな活用もできます……さまざまな科目で活用できるヒントを掲載しています。



参考……ワークに必要な資料を掲載しています。



知つとこ!事例……ワークに関連した事例を掲載しています。



ひとつとアドバイス……被害事例などにおける注意点や被害にあわないためのポイントなどを掲載しています。



ステップアップ……資料やワークで得た知識に加え、さらに詳しい情報を掲載しています。



プラスα……資料やワークで得た知識に関連したトピックや世の中の動きなどを掲載しており、状況に応じて生徒に情報提供できます。